
僕と友達と彼女

ザーボン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と友達と彼女

【Nコード】

N4054A

【作者名】

ザーボン

【あらすじ】

主人公、橘龍たちばなりゅうと友人の倉木修くらきしゅうの物語、心優しい龍は修が好きながいると言うことを聞き、恋路を応援してやるのだが、恋の行方は！？

友人の恋

僕の名前は橘龍たちほな りゅう

どこにでもいる普通の中学生だ

いつものようにカバンに荷物を詰めて部活へ行こうとした。

その時だった

誰かは知らないが、こう呟いた

「2組の倉木、同じクラスの川瀬が好きなんだってさ！」

僕は驚いた

倉木と言うのは僕の友達で本名は（くらき しゅう）

修とは小学校から親友だ。バカで天然でお人好しの修に好きな人がいたなんて・・・。

僕はふと思った

どうせだから川瀬と修をくつつけよう

そうと決まれば善は急げだ。

僕は川瀬の友達に川瀬に修と帰ってきてくれるように頼んでもらった。

あとは修を納得させるだけだ

急いでバスケット部に行き、修にこれを伝えた

すると修は

「え、ええ！？恥ずかしいよ、イヤだよ・・・」

と、弱音を吐いたので僕は修を一発殴った。

すると修は観念したのか、

「分かったよ、一緒に帰ればイイんだろ！」

と生意気を言ったので僕はもう一発、修を殴った。

時計を見ると6時30分を周っていたので僕は修にこう言った。

「女子を待たせたら嫌われるぞ」

すると、これがいつもの修なのかと思うほど速いスピードで着替え

て僕にこう言った

「女子を待たせたら嫌われるぞ」

僕が言った言葉をそのまま僕に返したので僕はまた修を殴った。そうこうしているうちに待ち合わせ時間は過ぎていたので、僕と修は走った

僕と修が息を切らせて待ち合わせの場所にいくと川瀬は、もう待ち合わせの場所に来ていた

修はヤカンが沸騰したかのように顔を赤くしていた。

僕が二人を追跡しようとしたら川瀬の友達が

「小百合が心配だから私達もいく」

小百合と言うのは、川瀬の事で本名は（かわせ さゆり）

と言う天然キャラで皆に親しまれている面白い奴だ。

修と小百合は、僕と先に行ってしまったようだ

急いで二人を追いかけると二人はもう車道に出ていて分かれたあとだった。

僕は急いで修の所に駆け寄り

「どうだった？」

と聞くと修は

「ドキドキしてあんま喋れなくて、とにかくもうヤバかった……

けどやっぱり小百合は可愛いな」

と言った。そして修はさらに

「龍も早く好きな人つくれよ」

と言ったので僕は修をもう一発殴った。

恋心

次の日僕は修と学校に行き、なにもなくただ平凡に学校生活をすごした。そして家に帰り部屋で勉強をしていると、ふと頭の中で小百合の顔が浮かんできた。僕はその時自分がまだ小百合を好きだとはしらなかった。そしてしばらくして僕はだんだんと小百合ばかりを見るようになっていた。そして僕は、たまたま帰る時に小百合達と出会った。そして小百合が修の事で話があるので聞いて欲しいといわれ僕と小百合は、小百合の友達と別れ近くの公園で話をする事になった。小百合は修には悪いけど修がどうゆう人かあまりわからないので教えて欲しいといわれて僕は、修がバカなところや修のいい事を小百合に話した。そうしているいろはなしているうちに小百合が僕に好きな人はいるのか？と聞いてきた。僕は、正直に言って修の応援をしているうちに自分も小百合のことを好きになっていた。そのことを小百合いえるはずがないのでぼくは

「いえない」

と答えたら小百合は

「教えるまで動かない」

といい僕をにらみつけたその時はもう8時を過ぎていただろうそれに小百合がここから動かないんじゃないじゃ帰るに帰れないので僕はモジモジしながら

「修の応援しているうちに小百合の事が好きになっていった」

と小百合に言うと小百合は

「え？それってどーゆう意味？」

と聞かれ僕は

「だから小百合が好きなんだよ」といった。

すると

「それって告白？」

と小百合に聞かれ僕は

「今のはナシ！告白する時はもっとちゃんと言いつから早く帰れよ」といって走ってその場から逃げた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4054a/>

僕と友達と彼女

2010年12月14日22時04分発行